

2015年6月23日
mail ニュース

No.7・通巻328

自治労連 都庁職

自治労連都庁職員
労働組合
発行人 高柳 京子
TEL 03-5381-0250

「沖縄戦」「米軍基地」「新たな基地建設反対の闘い」を体感し深く学んだ

都庁に働く青年交流会「沖縄平和ツアー」

6月12日（金）から14日（日）の3日間、都庁に働く青年交流会主催の「沖縄平和ツアー」が実施され16名が参加しました。

70年経って今なお残る沖縄戦の傷跡、強制的に奪った土地に居座り続ける危険な米軍基地（嘉手納・普天間）、そして、新たな基地を作らないために闘い続ける辺野古・高江のテント等を訪れました。また、沖縄平和委員会の平和ガイドの方に2日間にわたり同行いただき、さらに、辺野古・高江で闘いを続ける皆さんから直接お話を伺うことができ、沖縄の歴史と現状を深く学び、感じた3日間となりました。



沖縄県立平和祈念資料館の前で



辺野古テント村でお話を聞く参加者

自治労連都庁職としても、昨年の自治労連「おきプロNEXT」に引き続き、支部の枠を超えた青年組合員のつながりを広げ、活動を進めるために全面的に支援してきました。7月15日には都庁に働く青年交流会実行委員会と共催で「沖縄平和ツアー報告会・平和学習会」を開催します。

安倍政権は国会を大幅に延長してまで、戦争法案を成立させようとしています。この夏は、日本が再び戦争する国になることを阻止するために、一人ひとりが声をあげ行動しなければなりません。是非、多くの組合員の皆さんの参加をお願いします。

都庁に働く青年交流会実行委員会・自治労連都庁職 共催

「沖縄平和ツアー報告会・平和学習会」

日時 7月15日（水曜日）18時45分から 会場 新宿農協会館 8階大会議室

内容 学習会「戦争法案成立を阻止するために（仮）」 東京革新懇事務局長 今井文夫氏
「沖縄平和ツアー報告」「各支部の平和の取り組み」「原水禁大会参加者紹介」等